

房総のマッターホルン☺️コロナ禍の〇〇部主催山行記

千葉県 伊予ヶ岳(336.6m)

Bランク
編集/O

【 山行日 】 2022年2月26日(土) 快晴

【 交通手段&参加費 】 バス 3700円

【 参加者 】 18名 CL:H、SL:U O、O(SP)、O、K、K(SP)、T
T、H、F、M、Y、Y、Y、Y(SP)、M、O

【 行き帰りの行程 】

野木町役場6:00出発⇒久喜 IC 近く、山田ヒ合流⇒東北道・浦和 IC⇒アクアライン
⇒館山道・鋸南富山 IC⇒平群神社駐車場9:30:ストレッチ後登山開始～伊予ヶ岳
・南峰(ピストン)～平群神社駐車場13:00登山終了⇒道の駅:富楽里とみやま・昼
食⇒国道465号⇒国道16号⇒木更津金田 IC⇒アクアライン⇒久喜 IC 出口近く、
山田ヒ下車⇒野木町役場18時15分帰着

【トイレ場所】 道の駅:富楽里とみやま、平群神社

【歩程時間】 4時間16分(平群神社駐車場～山頂・南峰～平群神社駐車場)

スタート:平群神社9:48発～登山口9:53～東屋10:33～10:45～岩場ロ
ープ・鎖～伊予ヶ岳11:12～11:33～岩場ロープ・鎖～東屋12:11～
12:22～エンド:平群神社12:54着



【登山記録 &リアルタイム独り言】



①伊予ヶ岳の登山口

昨年7月、奥鬼怒で事故を起こした以来の本格的な登山となるが大丈夫だろうか？ 2018年に来た時(ちょうど、冬季オリンピックで羽生結弦選手がフィギュアスケートで金メダルを取った日)は、何の問題もなく登ったイメージしかない何とかなるはずだ・・・。



②登山口に向かう分岐

この辺は、いわゆるハイキングコース、両足のツツパリ感はあるが問題なく歩けている。この先の階段が、まずは最初の関門か、足は上がるだろうか？ すこし心配だな・・・。



③岩場の手前にある東屋

東屋までのコンクリート土止め階段はなんとか足は上がったが、段差の大きい場所では、足がスムーズに上がらない・・・。
なんだかんだでもって東屋に到着した。ここでヘルメット、ウエストベルト装着、ザックは東屋に残して身軽になった・・・。



④ロープが多数ある岩場

ロープは多数ある、足かがりもある何とかなる、K(SP)と(O)SPには前後を挟んでもらい両SPのサポートを受けながらゆっくりと岩場を登る。あれ♥見上げると前方の岩場が混んでいる・・・。



⑤クサリの有る岩場

以前から、このクサリは有っただろうか？ また、こんなに岩場は長かっただろうか？ こんな場所で渋滞に巻き込まれた身の不運を嘆くが焦っても仕方がない・・・。平常心、平常心と心に念じながらマイペースで登る・・・。



⑥伊予ヶ岳・南峰山頂

やっとこさでもって山頂にたどり着き、テーブルの椅子に腰掛ける。景色を楽しむ余裕は無い😞 「今日は人出が多いから北峰に行かずにこのまま降りよう」との声に素直にうなずく・・・。
下山も同じルートをピストンして無事、駐車場に着きました。

【感想文】



数少ない〇〇部主催の今期最後の山行だ。〇〇〇〇が参加せぬ訳にはいかないと思い、長期間のブランクを押して参加したが思いの他にキツかった。加齢を重ねた上に、一昨年の交通事故、昨年の山行事故による身体のダメージは私が思っていた以上に大きいようだ。来年度も〇〇部は、2月に伊予ヶ岳を計画しているので、それまでに足を直して難なく登りたいものだ。

伊予ヶ岳は、336.6mの低山ながら適度な緊張を強いられる岩場がある山でオフシーズンにおけるトレーニングには持ってこいの山である。梅花が香るなか陽光を浴びての房総湾や太平洋を見ながら、近きの山々・遠くの白き富士山を仰ぎ見ての登山は格別でした。本山行の計画・実施した〇〇部所属、CLのHさん、SLのUさんには篤く感謝したい。また、本山行の安全をサポートして頂いたK・Y・OSPには大変お世話になりました。本日参加の全ての皆様、来年度もまた〇〇部山行で、ご一緒出来ることを心より願っております。(O)



←道の駅: 富楽里とみやま

「富山の楽しい里」を、短く表現し、「誰でも“ふらり”と立ち寄れるスポットになってほしい」という願いを込めて命名されたそうです。1階直売所には、「南房総富山地域の新鮮なとれたて」が並んでいました。

以上